教科	国語	学年	3	クラス	Ba/Ad	担当	佐藤/田中/矮松

教科目標	それぞれの場面に応じた適切な表現方法を習得することで、社会に出てからも通用する国語力（生きる力）を身に付ける。自己表現を発展させ、伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

科目	国語表現/古典探究

	前期	後期
学習内容	【佐藤】 〇「表現とは何か」 ・平田オリザ「『対話』してますか？」を読み、日本語についての歴史を学ぶ ・外国語と日本語を比較し、日本語によるコミュニケーションの特性を理解し、現代社会においてどのようなコミュニケーション能力が必要であるのかを読み取る 〇「分かりやすく説明しよう」 ・人に説明する際の情報の整理の仕方を学ぶ ・自身がおすすめする本のPOPの制作 ・伝える対象によって異なる説明の仕方を学ぶ 〇「広告・PRの表現」 ・広告の表現技術について学ぶ ・広告に隠された意図を読み取る ・自身でキャッチコピーを作る 〇「母音表から詩を作る」 ・共感覚について学び、自分の感覚を表現する力を養う 【矮松】 〇古典文法の基礎 ・歴史的仮名遣いの読み方を学ぶ ・「動詞」の活用の基本を学ぶ ・授業で扱う教材にかかわる「助詞」「助動詞」の基本を学ぶ 〇古文の背景知識 ・授業で扱う教材にかかわる、有職故実や言語文化に関する基礎知識を学ぶ 〇古文単語の基礎 ・授業で扱う教材にかかわる、古文単語の意味や用法を学ぶ 〇古文「伊勢物語」 ・「伊勢物語」の中の章段を抜粋して読み、当時の恋愛観や風習について知る ・「古今和歌集」の和歌や詞書と比較し、歌物語としての「伊勢物語」の特徴について考える 〇古文「宇治拾遺物語」 ・「宇治拾遺物語」の中の章段を抜粋して読み、当時の価値観や以降の作品とのかかわりについて知る	【佐藤】 〇漢文の基礎 ・漢文の根本的な性質を学ぶ ・返り点による訓読法を身に着ける（書き下し・現代語訳） ・助動詞について学ぶ ・漢文を通して、思想を読み取り、考えを深める 〇漢詩 ・漢詩の形式や構成、表現技法について学ぶ 〇漢詩「春望」 ・漢詩を通して、中国の歴史や文化について学ぶ ・本文中の語句の意味について学ぶ ・本文を書き下し、現代語訳をする 〇論語 ・論語の書き下し、現代語訳について学ぶ ・句形や表現技法について学ぶ ・論語に書かれた精神を読み取り、考えを深める 〈Adのみ〉 〇漢文学の思想家について ・儒家、道家などの諸子百家について思想の違いを学ぶ 〇「桃源郷記」 ・文学におけるユートピア思想を学ぶ ・自分にとってのユートピアを考える 【田中】 〇「小論文の書き方」 ・論理的な文章の書き方を学び、示されたテーマについて、自身の考えを、論理的な文章を書く 〇「話し合う力をつけよう」 ・話し合いの基本的な展開を身につける ・自身の意見を持ちながら、異なる意見も受け入れ様々な思考や考えがあることを理解し、テーマに対する理解や自身の見聞を広める。
理解度の目標値	・日本語によるコミュニケーションの特性を理解し、現代社会においてどのようなコミュニケーション能力が必要であるのかを理解していること ・人に説明する際の情報の整理の仕方を理解していること ・伝える対象者によって説明の仕方を工夫できること ・自分の好きな本の魅力を他者へ適切に伝えることができること ・広告に隠された意図を読み取ることができること ・広告の表現技術について理解し、実際に工夫しながら自分でキャッチコピーを作ることができること ・歴史的仮名遣いで書かれた文を現代仮名遣いに書き直せること	・漢文の返り点の読み取り方を理解し、書き下しができること ・基本的な助詞、助動詞について理解できること ・現代語訳をし、漢文の思想を読み取ることができること ・漢詩の形式や表現技法について理解できること ・中国の文化や歴史について学んだことを身に着けていること ・漢文の語句の意味について理解していること 〈漢文Adのみ〉 ・諸子百家の思想をそれぞれ理解していること ・論語について概要を理解していること

(期末補習の基準)	・古文の動詞/形容詞/形容動詞の活用の基本を理解していること ・古文の基本的な助詞/助動詞の用法や意味を理解していること ・基本的な有職故実や古典の言語文化について理解していること ・基本的な古文単語の意味や用法を理解していること ・「伊勢物語」や「宇治拾遺物語」の中で描かれる当時の価値観や文化について現代と照らし合わせながら考えることができる	・論語に書かれた精神を読み取り、考えを深めることができること ・小論文のパターンや文章の構成方法を理解し、論理的な文章を書くことができる。 ・他者と自身の考えの相違を理解し、尊重することができる。
学習上のポイント	・身の回りにある表現方法を学び、自己表現に生かす　・古典文法を身に着け、古典を読み取ることによって、自身の思想を深める ・情報収集の技術や、情報の整理の仕方を身に着ける　・メディアの特質を意識しながら、情報を取り入れたり表現したりする ・古典を学ぶことによって、中国文化や歴史に触れ、多様な価値観を身に着ける	
その他の学び	・授業で扱った単元の応用　・状況に応じた自己表現の仕方を学ぶ ・言語学の学び　・社会に生きる言葉遣いを身に着ける　・プレゼンテーションで気をつけるべきこと ・テーマに沿った小論文を作る　・インタビューをする　・相手を気遣った話し方や傾聴の仕方を学ぶ	
教科を通じて学んで欲しいこと	・自身の気持ちを様々な形式で表現することの楽しさ（自己表現の確立） ・自分の考えを深め、正しい言葉遣いと文法で小論文を書くこと ・身の回りにある表現方法を学び、隠された意図を読み取ること ・日常生活でも生かせる情報を調べる際の適切な方法を知ること ・人に物事を伝える際に多角的な視点をもって言葉の表現をすること ・多様な価値観を身に着け、自身の思想を深めること ・言葉やそれにまつわる文化は長い歴史を背負っていること ・場面/相手/目的/メディアによって、伝わる情報の質や適切な表現の方法が変わること	
学習教材	東京書籍　国語表現 東京書籍　新編古典探究	
その他	・毎回授業の導入で「音読オムニバス」を実施。音読することで文章を味わうこと、著名文学に触れる機会を増やす。（興味・関心） ・マナトレ・・・火曜日の冒頭に導入（集中力UPと作文の確認のため） ・漢字の学習プリント（漢検対応）を配布。毎週水曜日にテスト→満点合格、できないところは練習プリントに取り組む ・・・漢字を学習し、身に着ける楽しさを知る→漢字検定受検の促進 ・現代文読解問題の演習強化	

2025年度(令和7年度)【通学型】

教科	地歴・公民	学年	3年	クラス	Ad／Ba	担当	島田/児玉

教科目標	社会にある様々な事象について学び、知識を習得して視野を広める。また、その知識をいかしながら考えや意見を持つことができるようにし、自分の考えを様々な方法で表現・主張することができる。他者の意見を様々な観点で受け入れ、自己の理解を深める。過去の出来事が現代の様々な社会的事象につながっていることを理解する。

科目	日本史探究/倫理

	前期	後期
学習内容	○日本史探求 1.「日本という国について」 …日本の時代名と先史～現代に至る歴史学上の区分が対比して理解する。 2.「先史の日本【旧石器～弥生】」 …ムラ・クニ社会から統一国家形成に至るまでの道のりを人物や社会体制から理解する。 …古代の日本の対外関係を学ぶことで身分制度貿易の仕方などを学習する 3.「古代の日本【古墳～奈良】」 …統一国家体制と律令制を学び、天皇中心の国家体制や貴族政治の基礎を学ぶ 4.「中世の日本【奈良～平安】 ・奈良時代の貴族政治の在り方、仏教社会の在り方を学び現代とのつながりを学ぶ ・貴族政治から武士のおこりについて理解する 5.中世の日本【平安～鎌倉】 武士社会の基礎形成を理解する。 武士政権成立と対外外交について学ぶ。 また、東アジア諸国との関係について学習する。 6.近世の日本【室町～安土桃山】 戦国大名がどのように国を統治していたかを学び政治制度を学ぶ 7.近世の日本【江戸】 …徳川政権の成立状況について知り、鎖国体制から見る江戸幕府の外交について理解する。	○日本史探求 8.「日清戦争・日露戦争」 …明治が始まって間もない日本がなぜ清や帝政ロシアとの戦争に至ったかを、主に朝鮮半島に視点を置きながら学ぶ。 9.「明治期対外戦争後の国際関係」 …日露戦争終結後、日本は国際社会でどのような立場を担ったのかについて学習する。 …主に対米関係について、地政学を手掛かりに日本の外交・政治政策について理解する。 10.「太平洋（大東亜）戦争について」 …後期に学習した国内政治や軍部・対外関係を踏まえ、なぜアメリカと戦争するに至ったかを考える。 また、日本が行った戦争政策や当時の国民生活についても学び、多面的に理解するとともに、現代社会で起こっている国際的な問題について考える。 11.「極東国際軍事裁判について」 …終戦後の日本の国内政治や対外関係を含め、いわゆる東京裁判についての歴史的問題点について考える。 12.「戦後のGHQ政策について」 …終戦後の日本の国内政治や対外関係を含め、どんな改革があったのかを現代と比較しながら考える
	○倫理 1.「人間とは何か」 …人間の定義や特質について理解したうえで、青年期の位置付けや特徴、現代社会におけるその特質について考察する。 2.「キリスト教」 …ユダヤ教やキリスト教の思想を多面的に考察し、愛・正義・真理などの観点から人間や社会、世界の在り方について考える。 3.「イスラーム」 …イスラームの誕生について、ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察する。また『クルアーン』にみられるイスラームの特色を理解する。 4.「仏教」 …ブッタの説いた苦の認識や縁起の法、慈悲の実践について理解する。	○倫理 5.「古代ギリシャ思想」 …ソクラテス、プラトン、アリストテレスの自然観や倫理思想に触れ哲学の意味や哲学の発展について考察する。 6.「中国の思想」 …諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて考察する。 7. 近代思想の展開 …ベーコンとデカルトの思想について、両者の共通点と相違点や、現代の価値観に与えた影響について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方や社会の在り方について思索する。

理解度の目標値 (期末補習の基準)	（前後期共通　次の3つの観点で補習基準を設定する） ①教科目標の観点から授業への出席を重視し、出席状況が半分を下回った場合。 ②試験で出題する論述問題が未記入および観点が足らないと判断した場合。 ③それぞれの生徒にあった最低限の理解度を試験等で把握し、理解や向き合う姿勢が足りないと判断した場合。 （次にあげる人物名や項目について理解しているか） →卑弥呼・厩戸皇子・源頼朝・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・伊藤博文・東郷平八郎・東条英機・渋沢栄一 →大化改新・律令制度・鎌倉幕府・織豊政権・江戸幕府・大政奉還・富国強兵・大東亜共栄圏・戦争開戦日、終戦日、原爆投下 →イエス・隣人愛・ムハンマド・クルアーン・六信五行・ゴータマ・シッダールタ・縁起の法・ソクラテス・ソフィスト・プラトン・イデア・アリストテレス・中庸 →儒家・道家・孔子仁と礼・孟子・荀子・ベーコン・帰納法・デカルト・演繹法
学習上の ポイント	・社会にある様々な事象について、考えや意見を持つことができるよう、また日本人として最低限知っておいてほしい知識を習得する。 ・自分の考えを様々な方法で表現し、主張し、また他者の意見を様々な観点で受け入れ、自国に対する理解を深める。 ・過去の出来事が現代社会の政治・経済・国家体制・安全保障等につながり、また自分の生活につながっていることに気づき、自国の歴史や文化に対して誇りを持てるきっかけを作る。 ・人間の在り方を深く考察し、西洋・東洋思想の流れを学びながら、現代社会の諸課題を倫理的に考察し、自己と他者のあり方を見つめ直す力を養う。
その他の学び	・成人年齢が18歳に引き下げられることを踏まえ、主権者教育に重点を置き、社会形成の一員として必要な知識と能力を習得する。 ・日本の文化史を学び日本人としての誇りを持つともに、現代社会に受けつがえる文化を学ぶ。
教科を通じて 学んで欲しいこと	・歴史（過去）を学ぶことは現代に通じることであるという点。 ・特に近代史（明治～昭和前期）を学習することで、現代に起きている様々な問題（領土問題等）を考え、意見を持ち知識を習得できる点。 ・学習を通じて自信の在り方などを見つめるためのヒントとなる多様な価値観や考え出会う。
学習教材	・「日本史探究」（東京書籍）・「倫理」（東京書籍） ・その他、必要に応じて教材を設定する。
その他	・Adクラスはプリントではなくノートテイク式で実施するかどうかを検討する。 ・進路のことを念頭に、国語科と連携して文章表現や調査、意見をまとめるなどの学習について検討していきたい。

2025年度(令和7年度)【通学型】

教科	数学	学年	3	クラス	Ad/Ba	担当	奥山・長嶋

教科目標	基礎的な知識の習得をし、数学のよさを認識できるようにする。指導方法を工夫・改善することによって、生徒一人ひとりが意欲的に取り組み、論理的思考力や問題解決能力が高まるように努める。

科目	数学A

	前期	後期
学習内容	◇場合の数 ・順列 樹形図を利用して順列の意味を理解し、公式を用いて基本的な順列の総数を求めることができる。 ・組合せ 組合せの意味や性質を理解し、公式を用いて基本的な組合せの総数を求めることができる。 ・集合 集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題 命題の真偽と反例を考えることができ、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに逆や対偶について理解し、論理的な思考力を養う。 ◇図形の性質 ・図形 直線と角の関係や、多角形の内角、外角について理解し、事象を多角的にとらえる力を養う。	◇確率 ・確率 試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。また、いろいろな事象の確率について思考を深める。 ◇整数の性質 ・約数と倍数 約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的な概念について理解し、最大公約数、最小公倍数の関係を知る。また、ユークリッドの互除法の有用性を認識する。 ・基礎演習 2次方程式を中心に高校卒業としてできて欲しい内容を確認をする。 ◇図形の性質 ・三角形の性質，円の性質 三角形や円の基本的な性質を理解し、図形を正しく認識し問題解決に取り組む姿勢を育む。
理解度の目標値(期末補習の基準)	・P（順列）やC（組合せ）を利用した計算ができる。 ・集合の要素がわかる。 ・対頂角、同位角、錯角を求めることができる。	・基本的な確率が求められる。 ・倍数や約数が求められる。 ・中点連結定理を利用して辺の長さを求めることができる。
学習上のポイント	・2次方程式が解けること。 ・分数の計算や約分ができること。 ・問題文を読んで、必要な情報を整理することができること。	
その他の学び	・学習の定着を図るために、演習問題を実施する。また、数学への興味・関心をもってもらう内容も取り入れていくよう心掛ける。 →賢くなるパズル・・・四則演算の計算をスムーズにし、思考力・集中力を高める。 →フォーマテリアル・・・トランプを利用し、計算力を高める。	
教科を通じて学んで欲しいこと	・自ら学び自ら考える力や創造性の基礎となる力を学習内容を通して育成されるよう留意する。 ・問題解決への道筋を構成する力を養う。 ・単なる計算ではなく、数学的な見方や考え方をすることにより、日常生活を豊かにする。	
学習教材	新数学A　（東京書籍） 新数学A 解答編（東京書籍） マナトレ	
その他	・習熟度には分けるが、共に同じ学習をする。 ・前期・中間・後期の試験結果でAd/Baの入替をするが、点数だけではなく数学的な思考力も参考にする。 ・成績の評価の方法は、出席や授業態度（意欲+関心+態度）、課題等の提出状況で判断する。	

教科	理科	学年	3年	クラス	Ad/Ba	担当	島﨑

教科目標	科学の知識が、日常生活を便利にしたり、自分の身を守ることや環境を守ることにつながったりすることを実感し、高校理科の学習の土台となる知識と、疑問から思考を深める力を身につける

科目	生物基礎

	前期	後期
学習内容	[前期：学習内容] 1. 「生物の多様性と共通性」 生物には様々な種類があるが、すべて共通性があることを学ぶ。その中で細胞のつくりや違いについて理解する。 2. 「生物とエネルギー」 生物が行う代謝のしくみ、そのエネルギーに関わるATP、さらに酵素のはたらきについて学ぶ。 3. 「遺伝情報とDNA」 遺伝子とは何か、言葉の意味を理解し、物質としてのDNAのしくみを学ぶ。延期に注目し、その複製や細胞分裂についても理解する。遺伝の法則についても触れる。 4. 「遺伝情報とタンパク質の合成」 翻訳、転写のしくみと、アミノ酸から合成されるタンパク質について、また、遺伝子の発現についても学ぶ。	[後期：学習内容] 1. 「ヒトの体を調節するしくみ」 体内環境、体液、器官という基本的な体のしくみについて知る。その上で、それらの調節にはたらく神経やホルモン、それらが実際に協働する血糖濃度調節のしくみについて理解する。 2. 「免疫のはたらき」 体を守る免疫のしくみを知り、免疫記憶ができる流れやその利用、更に免疫にかかわる疾患について学ぶ。
理解度の目標値(期末補習の基準)	1. 細胞の基本的構造とはたらきを理解していること。 2. 呼吸、光合成を、それにかかわるエネルギーとともにそのはたらきを理解していること。 3. 遺伝子という言葉の意味、実際の物質の流れを理解し、形質の発現のしくみを説明できること。	1. ヒトのからだの代表的な器官とそのはたらきが答えられること。 2. 神経、ホルモン、免疫のはたらきをそれぞれ理解し日常の健康とのつながりを意識できるようになること。 3. 免疫により健康が保たれていることを理解すること。
学習上のポイント	1. 生物で扱う基本的な元素記号や化学物質名を知っていること 2. 体のつくりや健康状態について、日常から十分に意識をもって生活していること	
火・木の学習内容	□「生物の多様性と生態系」について。また、通常授業の応用の知識や調べ学習。 □ 通常授業では扱わない実験など □ 補足教材（問題集）	
教科を通じて学んで欲しいこと	1. 細胞は常に生命活動を行っていることや、命を守るための基本的行動が生まれながらにして備わっていること 2. 知識が多くなることで、問題が解ける楽しさ 3. 身近な物事を科学的視点で捉える客観的な思考力 4. 学習行動の積み重ねによって、このような学習ができるようになっているという実感と自己肯定感 5. 学んだ知識が、日常生活やこれからの人生に役立つという意味づけ 6. 「楽しむ時は楽しむ」「やるべきことはやる」というメリハリ 7. 「提出期限を守る」などの社会的ルール	
学習教材	東京書籍 新編 生物基礎 東京書籍 新課程 ニューサポート 新編生物基礎	
その他	一般常識として知っているべき知識を身につけることを目標とし、中学校で学習するべき教材についても扱う。 授業を通し、命や生きることについて考えるきっかけの場となるように心がけていきたい。 また、より興味・関心をもつことを目標とし、生活の視野を広げるきっかけづくりとしたい。 ＊ 履修としては「生物基礎」だが、生物の基礎学力また、「できる実感」「問題を解ける自信」をつけるためにも学習内容のつながりとして、「生物」の内容まで扱うこともある。	

2025年度(令和7年度)【通学型】

教科	保健体育	学年	3	クラス	共通	担当	松澤

教科目標	心身の健康を保つために必要な知識を身につけること。苦手なことにも挑戦したり、前向きに生きる姿勢や態度を育むこと。他者とのつながりを育むこと。

科目	体育

	前期	後期
学習内容		座学　1 技能の上達過程 2 フィードバック 3 けがや事故・その予防 実技　共通　体を動かすこと ストレッチ 種目　体ほぐし ビーチボールバレー スマイルボーリング ハイキング バスケットボール 学年の状況に応じて
理解度の目標値(期末補習の基準)	座学　3回の報告課題の達成度が70%に達していない場合 実技　規程の時間数に達していない場合、見学等でじゅうぶんと判断されない場合	
学習上のポイント	抵抗感・苦手意識をひくくする内容を実施し、不参加の割合を少なくすること。 前向きに取組めるような雰囲気作りを心掛けること。 自発的な活動につながるように配慮すること。	
その他の学び	他者の取組を見学・応援することを通して、スポーツや体を動かすことに前向きに関わる姿勢を育むこと。	
教科を通じて学んで欲しいこと	ひとりでは、学べないことを学ぶ、体験する。	
学習教材	現代高等保健体育（大修館書店）	
その他	生徒の実態に応じて、学習強度や内容を検討し、実施をすること。	

教科	英語	学年	3	クラス	Ad・Ba共通	担当	吉岡・茅野

教科目標	基本的な学習内容を理解し、3年間のまとめとする

科目	英語コミュニケーションⅢ	
	Ad:吉岡、Ba:茅野	Ad:茅野、Ba:吉岡
	前期	後期
学習内容	1.「関係代名詞」 ・疑問詞と混同しないように注意する。 ・先行詞に応じて関係代名詞を使い分けることができる。 ・関係代名詞を用いた文を理解する。 2. 教科書「Lesson 4 Our Future Food?」 ・本文中で使われている語句を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・食糧問題について自分の意見を持つ。 3. 分詞 【Ba】現在分詞を使うことができる。 【Ad】現在分詞、過去分詞、分詞構文を理解することができる。 4.「教科書A_Lesson 5 Madagascar」 ・本文中で使われている語句を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・環境問題に対して自分が取り組めることを考える。	1.「現在完了形」 ・基本的な一般動詞の過去分詞の読み書きができる。 ・3用法の意味の違いを理解し、使い分ける ことができる。 2.「仮定法」 ・直説法と仮定法の違いに注意する。 ・【Ba】仮定法過去を用いて表現することができる。 ・【Ad】仮定法過去、仮定法過去完了を用いて表現することができる。 3.「教科書_Lesson 8 Witnesses of War」 ・本文中で使われている語句を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・戦争の悲惨さに触れ、唯一の被爆国に生きている私たちが 何をするべき科を考える。
理解度の目標値(期末補習の基準)	・先行詞に応じて適する関係代名詞を選ぶことができる。 ・分詞の働きを理解し、前置修飾、後置修飾を使い分けることが出来る。 ・教科書本文の内容を理解している。	・現在形および過去形と現在完了形の違いを理解 することができる。 ・現在完了形の3用法の意味の違いを理解することができる。 ・場面と状況に応じて仮定法と直説法を使い分けることができる。 ・教科書本文の内容を理解している。
学習上のポイント	・先行詞に応じて適する関係代名詞を選ぶことができる。 ・分詞の前置修飾、後置修飾を用いることができる。 ・教科書本文の内容を理解している。	・基本的な一般動詞の過去分詞の読み書きができる。 ・場面と状況に応じて仮定法過去と直説法を使い分けることができる。 ・教科書本文の内容を理解している。
その他の学び	・火曜日⇒授業内容の復習や英語を用いた活動をAd/Ba合同で行う。 ・木曜日⇒コミュニケーション活動、国際理解教育（タラジャ先生）	
教科を通じて学んで欲しいこと	・英語は文法を勉強する教科という強いイメージがあるが、「コミュニケーションの方法」を学ぶ教科でもあること。 ＊英語を用いたコミュニケーションだけではなく、友人とのかかわり方等も学ぶきっかけとしてほしい。 ・他国の言語や文化に触れることで、視野を広げ外の世界に興味を持つこと。 ＊自分の持つ世界が基準ではなく、国や人によって様々な文化や考え方があることに気付いてほしい。 ＊世界で起きている様々な問題についての英文を読むことで、自分に何ができるかを考えるきっかけにしてほしい。	
学習教材	・東京書籍 All Aboard! English Communication Ⅲ ・英単語テスト（毎週水曜日実施）→5月～ 「チャンクで英単語 Basic」、および「過去分詞単語ブック」より出題	
その他	・後期は前期の成績をもとにAd/Baに分ける予定。 ・英語検定を実施する。（5月、10月、1月） ・プリントは講座ごとにアレンジして使用する。	

2025年度(令和7年度)【通学型】